

BJ☆information

VOL.1

～新たなメンバーが加入しました～

令和元年6月13日に新たな『BJ☆プロジェクト』が発足しました。これまでのBJ☆アドバンス（5名）に加え、新メンバー8名が加わり13名のチームとして、女性の視点を活かし、本市の防災対策をいっそう強化していきます。



①昭和学院短期大学での防災講座

7月1日（月）に、昭和学院短期大学で防災講座を実施しました。新たなBJ☆メンバーは、講師を務めるアドバンスや危機管理職員の補助をしながら、防災に対する知識を深めました。



段ボールトレの組み立て



血栓防止の体操



非常食の試食、避難所体験



防災クイズ



新聞紙でスリッパの作成

②災害用トイレの夜間実証実験

本市で備蓄している「災害用トイレ」の仕様変更に伴い、夜間時に実証実験を実施しました。

旧型タイプ



新型タイプ



仕様変更



旧タイプのトイレは、中が透けて見えてしまう



旧タイプのジッパー式なので、開け閉めが大変



新タイプはパネル式なので、強固で安心

実証実験のポイント

災害が発生した際、被災した方が最も困ったのが「**トイレ**」でした。本市が備蓄している災害用トイレは、これまで主流であったテント型でした。熊本地震等の課題を踏まえて、平成29年にBJアドバンス等により夜間検証を行ったところ、「隙間が空いていて覗かれそう」「照明で内部が映り込んで恥ずかしい」「ひとりで開けられない」といった意見が多数出ました。これらの視点は、女性だけでなく高齢者や子どもなど多くの方に関わることから、この意見を踏まえて新たにパネル式の災害用トイレに切り替えることにしました。今回の実証実験では、これまでの課題を改善できたことが確認でき、**女性の視点**から「**安心で衛生的**」な災害用トイレの備蓄につなげることが出来ました。今後も、様々な視点でよりキメ細やかな防災対策に努めていきます。